

東京湾・大阪湾・伊勢湾における モニタリングポスト設置について

国土交通省 港湾局
国際・環境課

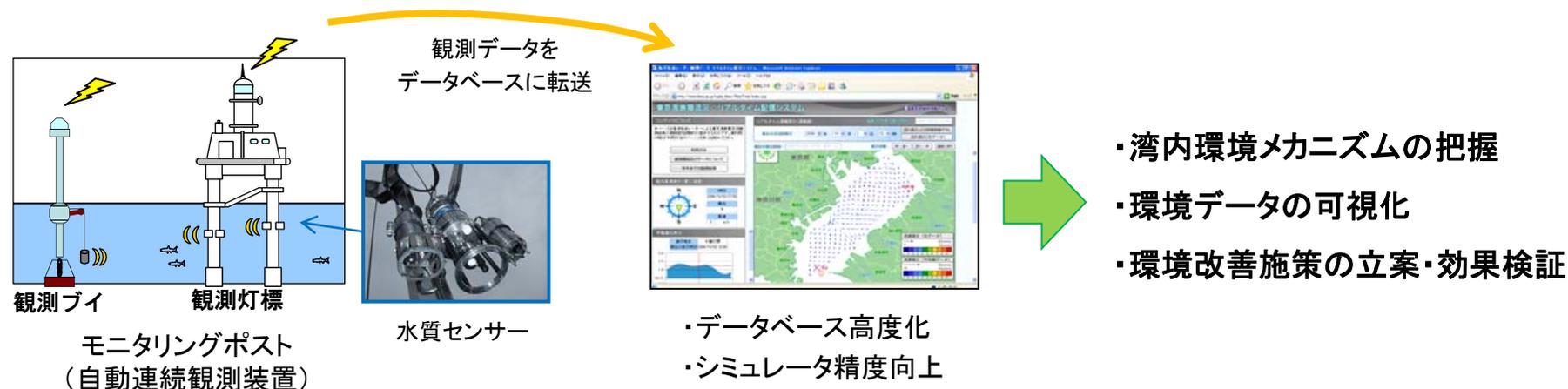
1. 背景・目的

背景

- 東京湾・伊勢湾・大阪湾では、水質総量規制により流入汚濁負荷量は着実に削減されているものの、過去から堆積している底泥の影響もあり、海底水塊の大規模な貧酸素化が恒常的に発生するなど、海域環境は依然として厳しい状況にある。
- 各湾では、関係機関や関係自治体により海の再生プロジェクトが推進されており、汚泥の覆砂・除去、深掘り跡埋め戻し、干潟・藻場の造成等の海域環境対策を講じた箇所では改善効果が確認されている。

目的

- 海の再生プロジェクトを推進するためには、自然環境の予測や把握の不確実性や合意形成の重要性を考慮し、モニタリングを継続的に実施しながら、管理手法をレビューした結果をフィードバックさせていく「順応的管理」が不可欠。
- 特に、汚泥の覆砂・除去、深掘り跡埋め戻し、干潟・藻場の造成等の湾全体の環境対策をより効果的に実施するためには、各湾の環境の変化を捉え、その動的なメカニズムを解明することが重要であり、連続的な水質観測が不可欠。
- このため、連続的な環境データの観測システムを構築することにより、各湾の環境メカニズムを的確に把握するとともに、一般利用者に分かりやすく可視化されたデータの提供や効果的な海域環境改善対策の企画立案、事業実施後の効果検証等を進める。



2. モニタリングポスト(自動連続観測装置)の概要

(1) 主な観測項目

水温、塩分、溶存酸素量(DO)、濁度、クロロフィルa、流向・流速、風向・風速

(2) 観測頻度

毎正時観測(… → 0:00 → 1:00 → … → 22:00 → 23:00 → 0:00 → …)

(3) 観測水深

自動昇降式観測装置: 海面下～海底の間を1m間隔で観測

固定式観測装置: 海面下の固定層で観測

(4) 主な観測機器



多項目水質計
(水温・塩分・溶存酸素量・濁度・クロロフィルa)



流向流速計
(流向・流速)

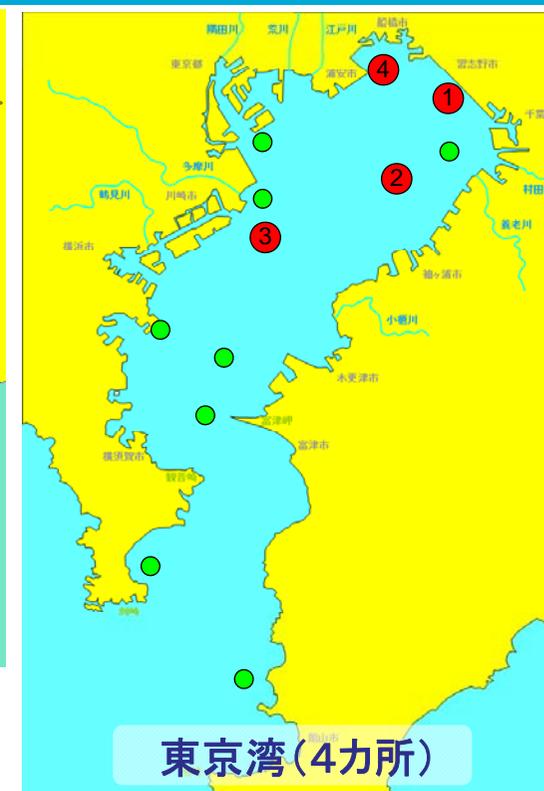
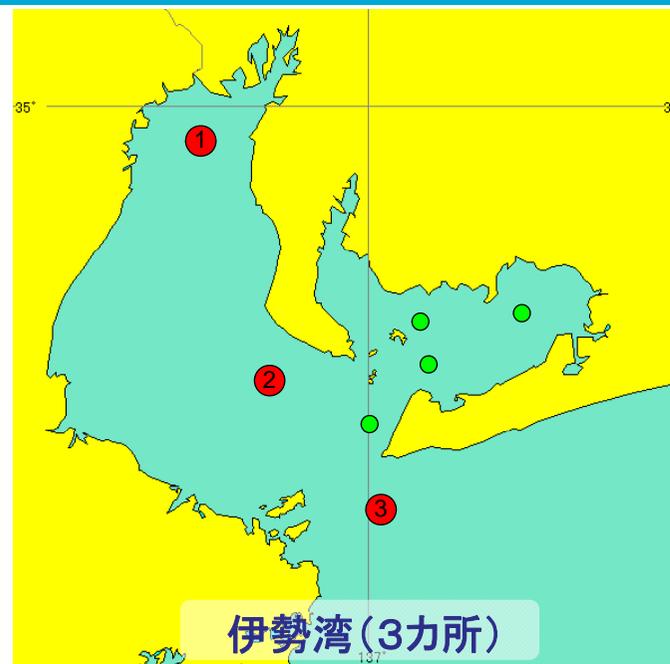
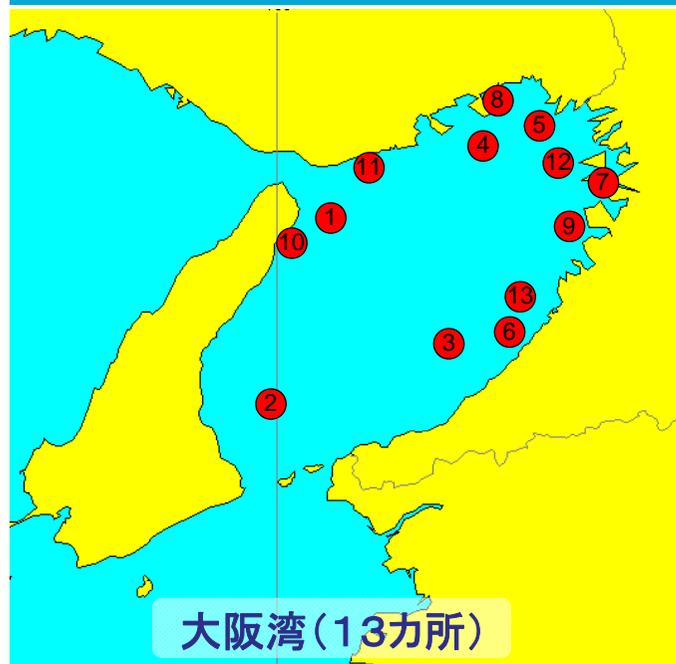


気象計
(風向・風速)



自動昇降装置

3. 自動連続観測装置(モニタリングポスト)の設置場所



	観測地点名	海面鉛直方向の観測方法
①	明石海峡航路東方灯浮標	固定式(1層)
②	洲本沖灯浮標	固定式(1層)
③	関空MT局	自動昇降式
④	神戸港波浪観測塔	自動昇降式
⑤	淀川河口	固定式(3層)
⑥	阪南沖窪地	自動昇降式
⑦	堺浜	自動昇降式
⑧	六甲アイランド東水路中央第三灯標	固定式(18層)
⑨	浜寺航路第十号灯標	固定式(18層)
⑩	淡路交流の翼港	固定式(2層)
⑪	須磨海釣り公園	固定式(2層)
⑫	大阪港波浪観測塔	自動昇降式
⑬	岸和田沖	自動昇降式

	観測地点名	海面鉛直方向の観測方法
①	湾奥部(常滑市大野地先)	自動昇降式
②	湾中部(伊勢湾第4号灯標)	自動昇降式
③	湾口部(瀬木寄瀬東方灯標)	固定式(3層)

	観測地点名	海面鉛直方向の観測方法
①	千葉港波浪観測塔	自動昇降式
②	千葉港口第1号灯標	固定式(3層)
③	川崎人工島	自動昇降式
④	浦安沖	自動昇降式

凡例

● : 既設観測位置
● : 新設観測位置

4. 観測データの公開方法

観測データは、下記の公開サイトから閲覧・入手可能です。

東京湾

公開時期：平成22年度内に公開予定

公開サイト：関東地方整備局が運営するホームページ「東京湾環境情報センター」

(<http://www.tbeic.go.jp/>)

伊勢湾

公開時期：平成22年4月1日より公開予定

公開サイト：中部地方整備局が運営するホームページ「伊勢湾環境データベース」

(<http://www.isewan-db.go.jp/>)

大阪湾

公開時期：平成22年5月 公開予定

公開サイト：近畿地方整備局が運営するホームページ「大阪湾環境データベース」

(<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/>)